

ティアレ PEG キット

動物用医療機器届出番号：29動薬第316号

“充実のキット” を “お求めやすい価格” でご提供します。



“Tierrett”「ティアレ」は、病気に苦しむ動物達を助けたいとの思いから、

ドイツ語の“Tierrettung”（動物救護）をモチーフにした、
クリエートメディックの動物医療向け製品のブランド名です。

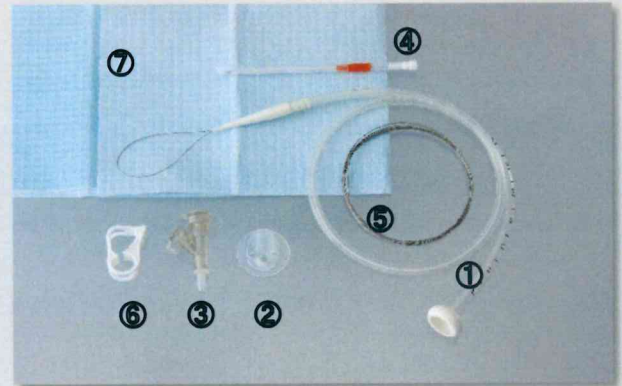


ティアレPEGキット

製品の特長

○キット構成

- ①PEGバンパーカテーテル
 - ②専用固定板
 - ③接続2ポートアダプター
 - ④内針付きイントロデューサーカニューラ(14G)
 - ⑤ループワイヤー
 - ⑥クランプ
 - ⑦ドレープ
- 合計7点



○バンパータイプ

>バンパータイプは事故(自己)抜去の危険性が大幅に低減されます。

○透明なチューブ

>透明なチューブで、内腔の給餌残りが容易に確認出来ます。

○チューブを曲げて体表部に固定

>専用固定板に曲げて固定するので、抜けづらく邪魔になりません。

○からだに優しいシリコーン製

>生体適合性に優れ、粘膜への刺激が少ないシリコーン製となっています。



製品規格

サイズ 呼称	チューブ 外径	チューブ 内径	有効長	バンパー径	品目コード	JANコード
20Fr	φ6.7mm	φ4.2mm	700mm	25mm	800-001-5028	4542187206807

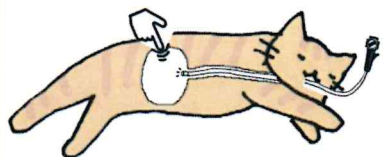
1キット/箱・EOG滅菌済

□弊社は常に研究開発を行っておりますので、予告なしに製品仕様の一部を変更する場合があります。予めご了承ください。

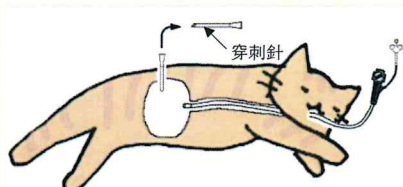
□ご使用にあたっては、必ず添付文書をご一読ください。

Tierrett

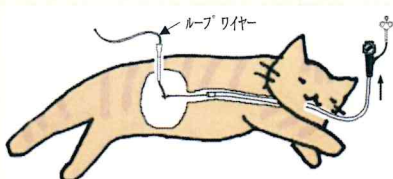
ティアレ PEG キットの使用方法について(当社推奨)



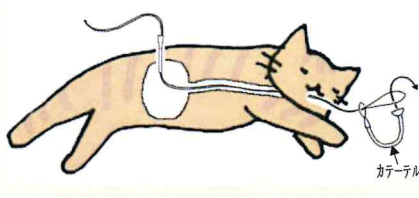
- ・内視鏡を定められた操作方法に従って胃内に挿入する。
- ・送気により胃を十分に膨らませ、腹壁を照射した透過光が最も強い部分の皮膚を圧迫し、胃内腔の隆起を内視鏡で確認することで、適切な胃瘻造設部位を決定する。



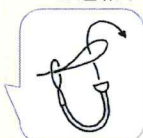
- ・選定した刺入部位周辺を剃毛、消毒し滅菌ドレープで覆う。
- ・内視鏡のチャンネルを通じてスネアを挿入し、胃内で待機する。
- ・小切開メスで、適切な位置を皮膚切開する。(少なくとも 1cm 切開)
- ・皮膚切開部位から内針付イントロデューサーカニューラを刺入し、胃内への到達を内視鏡で確認した後、穿刺針を抜去する。



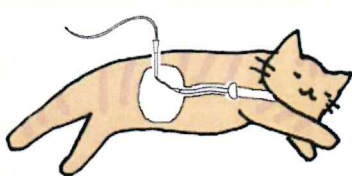
- ・穿刺カニューラからループワイヤーのループ部分を胃内に挿入し、スネアでループワイヤーをしっかり把持したまま、内視鏡と共に口腔外に引き出す。



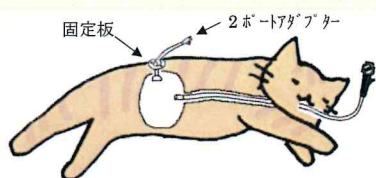
- ・ループワイヤーを十分に引き出したらスネアを外し、カテーテルの先端ワイヤーとループワイヤーを連結する。



(重要: 右図のように、引き出したループワイヤーをカテーテル先端ワイヤーのループ内に通し連結して下さい)



- ・カテーテルに潤滑剤を塗布した後、切開部位から出ているループワイヤーを把持し、ゆっくりと引っ張ることでカテーテルを口腔内に引き入れ、切開部位を通り、穿刺カニューラとともに体外に引き出す。



- ・カテーテルのポンパが胃前壁に軽く接触したら、内視鏡を再び挿入し、正しく留置していることを確認する。
- ・固定板をカテーテルの先端から通し、切開部位で固定する。
- ・栄養補給に適した長さを残し、カテーテルを垂直に切断する。
- ・切り口に2ポートアダプターを取り付ける。

【抜去方法について】

- ・固定板を取り外し、腹部からスライプする。内視鏡を定められた操作方法に従って胃内に挿入する。
- ・送気してポンパを把持出来るか確認する。瘻孔に潤滑剤を塗布し、カテーテルをゆっくり回し胃内に1~2cmほど押し込む。
- ・スネアを挿入しポンパを把持する。体表上の皮膚に近い場所でカテーテルを切り離し、内視鏡と共に口腔外へ引き出す。